

盛岡中央高校

PTA会報



MORIOKA CHUOH HIGH SCHOOL
The Transaction of PTA

Vol.51

令和元年12月13日
盛岡中央高等学校
PTA会長 千葉 春幸
在校生徒数 759名
〒020-0122
盛岡市みだけ四丁目26番1号
電話019-641-0458
URL <http://www.chuo-hs.jp>



第21回CHUO国際教育フォーラム開催 ~Think Globally and Act Locally transforming the word using SDGs~

令和元年8月31日(土)第21回CHUO国際教育フォーラムが盛岡市民文化ホール、マリオスで行われました。15の国と地域から生徒50名、引率教員27名の計19校77名が盛岡中央高校で一週間のフォーラムウィークを過ごしたのち、31日のフォーラムで研究発表を行いました。

今年のテーマは「Think Globally, and Act Locally transforming the word using SDGs」掲げ、SDGsを基に3つの分野「高齢社会」「子供の貧困」「女性の社会進出」に分かれ、姉妹校と情報を共有し、考えを深めました。国が違えば、環境や考え方を深めました。国が違えば、環境や考え方を深めました。国が違えば、環境や考え方を深めました。



第21回CHUO国際教育フォーラム
実行委員長挨拶

「作り上げるとは」

フォーラム実行委員長
3年Z3組 宮本 彩加



「CHUO国際教育フォーラム」は毎年、私たちに大きな感動を与えてくれます。昨年のフォーラムから早一年、再びこの日がやってきました。長年、国際交流に力を入れてきた盛岡中央高校にとって、このフォーラムはとても大切なイベントです。

今年は、「SDGsを活用し地球規模で考え地域に貢献しよう」というテーマのもとSDGsの17の目標を骨格として3つのグループに分かれて発表しました。

今年は特にグループでの活動に力を入れました。中間発表会を開催したり、校長先生、先生方からアドバイスをいただいたり、事前に各国の姉妹校の生徒の意見をビデオにして送ってもらったりなどを通してフォーラムウィークの前から考えを深めて行きました。そしてフォーラムウィークでは施設訪問や討論会を通してグループ全員の気持ちを一つにまとめていきました。今年の発表は今まで以上に中身の濃いものになったと思います。フォーラム委員そして全校生徒全員が気持ちを一つに、過去最高のフォーラムを作り上げることができました。そして最後に「第21回目のCHUO国際フォーラム」を盛大に開催できたことを嬉しく思うのと同時に、協力してくださったすべての方に感謝申し上げます。

各国における貧困の定義、子どもの貧困を援助するために必要なこと、教育支援について。

【女性の社会進出】女性活躍社会に必要な政策、各国における女性の雇用について、経営者、国会議員の数、家事育児の労働バランスについて。

これらの問題についてはSDGsのほんの一部について、高校生が話し合いとめしました。2030年までに解決にむけての活動や啓発を今後も継続して深めていきたいと考えています。

フォーラム午後の部は恒例の姉妹校パフォーマンスを見ました。ロシアの民謡やニュージーランドのハカ、ベトナムの舞など国ごとの文化を知るいい機会となりました。その後はホストファミリーの皆さんを囲み夕食パーティを行いました。一週間滞在したファミリーに感謝し、フォーラムの成功を祝い笑顔と、興奮のなか第21回CHUO国際教育フォーラムが終了しました。

年号が平成から令和に改まった本年度も早いもので間もなく9ヶ月が過ぎようとしています。三年生で大学受験を目指している諸君は、一月十八十九日の最後のセンター試験に向けて、懸命に頑張っているところだと思います。また、既に栄冠を手にした諸君は新天地での新たな生活に胸躍らせているところかと思えます。

令和元年度も生徒は文武両面にわたるその実力を遺憾なく発揮し、中央高校の名を大いに世に知らしめてくれました。その活躍は枚挙にいとまがありません。また、目立たないながらも各部や委員会のボランティア活動等の取り組みが、地域の皆様からも大変感謝されておりうれし限りです。これもひとえに保護者の皆様の本校の教育活動に対しますご理解、ご協力、ご支援の賜物と御礼申し上げます。

さて、年が明ければあつという間に三年生は卒業です。「一人ひとり心に

灯してもらいたい三つの『ひ』があります。

一つは「一隅の灯」です。伝教大師の言葉に、「徑寸十枚、これ則ち国宝なり」とあります。中国の魏の時代の話ですが、徑寸十枚とは、直径一寸の玉(ぎよく)が十枚あって、車の前後を照らす。これが魏の国の宝である。これに対し、齊の国王が、世の中の片隅を明るく照らしている人間こそが国の宝である、と言った故事に因んだものです。

次が「石中の火」です。山本周五郎の「雨あがる」に出てくる玄和和尚の口癖で「石中に火あり。打たずんば出でず」というものです。火打石は打たなければ火が出ない。だから結果を求めらば行動を起こせと解釈しています。

三つ目は「燎原の火」です。ワールドカップラグビーのスクラムのように全員で肩を組んで、原野を焼き尽くす火のような勢いで頑張っているというのが「燎原の火」です。この「一隅の灯」「石中の火」「燎原の火」をいっつも心に灯してほしいと願っています。

中央高校が更なる発展・邁進を続けるためにも皆様方の一層のご指導ご支援をお願いいたします。



校長
千葉 研二

「三つひ」

ホストファミリーの感想

1年生 1Z1
小澤 滯
ホストファミリー

留学生を迎え入れることに不安がありました。子供たちはあつという間に仲良くなり笑いの絶えない毎日でした。習慣や食事の違いなど、日本にいながら異文化を感じることで、今暮らす日本を改めて考える良い機会にもなりました。ありがとうございました。



2年生 2SZ2
相田 優衣
ホストファミリー

私がこの一週間を通して感じたことは、「言葉の壁」よりも「コミュニケーション能力の重要さ」です。このホームステイは、姉妹校生徒にとっても、我が家にとっても、他では得難い素晴らしい体験となりました。このような機会を頂き、ありがとうございます。



1年生 1Z3
箱崎 塁
ホストファミリー

今回初めて姉妹校生徒2名を受け入れを致しました。ベトナムの生徒との会話はスマホの翻訳アプリを使って英語でコミュニケーションをとりました。2人の食の好みが大変でしたが、何とか大変喜んでもらうことができました。



2019年CHUO友好交流団姉妹校派遣

Singapore		11/1-11/12	
シンガポール引率		小笠原 典子	
1	SZ1	佐々良 愛奈	
2	SZ1	千葉 はるひ	
2	Z1	浦上 青花	
Canada		11/24-12/4	
カナダケベック州引率		中村 理 恵	
1	Z1	小澤 滯	
2	Z1	菅原 花 梨	
2	Z1	高橋 那 純	
Indonesia		11/30-12/10	
インドネシア引率		佐藤 由季也	
2	SZ1	斎藤 菜々子	
2	SZ2	田頭 京 鈴	
2	Z1	石母田 鈴	

タイ・インドネシア日本語研修ホームステイ家庭募集中

- 日にち：2020年2月22日(土)～29日(土) うち3泊4日・事前説明会あり
 - 協力金：1日あたり3,500円×1人×4日＝合計14,000円
- 布団貸与あり、交通費別途、2月23日(日)祝日は学校で市内観光を予定しています。



日本語を学びに来ている生徒たちなので日本語または英語で会話ができます。イスラム教徒への宗教的なタブーについては事前説明会でお伝えします。修学旅行やグローバル育成研修前後の経験を増やすためにも、興味があるご家庭はぜひご協力をお願いいたします。
(お問い合わせ・お申し込みは) 国際課 中嶋尚樹 nakashima@chuo-hs.jp

留学生紹介



中国出身
谷子毅さん

みなさん、こんにちは! 私は中国の広東省から来ました、谷子毅(たにしき)と申します。"心連心"第14期生として、日中交流の架け橋になるために、日本人と一緒に生活し、日本の文化を理解するために、学校の茶道部に入りました。これからも学校のみならず仲良くなりたいです。最高の思い出を作るため、頑張ります!



タイ出身
アートさん

みなさん、はじめまして。私はアートです。よろしくお願いします。タイ出身です。私の趣味はゲームをすることです。アニメとまんがが好きです。秋葉原と横須賀巻へ行きたいです。16歳になりました。日本に来たのは、日本の文化を知りたいからです。温泉には行ってみたいです。日本人の友達を作りたいです。



タイ出身
アイスさん

はじめまして、タイから来たアイスと申します。日本語は一年半で勉強しました。今年16歳になりました。去年、日本の大阪へ旅行しました。初めて旅行の経験で、とりにになりました。色々なことをしてみたいです。みなさんと仲良くなりたいです。よろしくお願いします。

PTA講演会

今回は『夢の発見・実現にむけて』と題しまして、株式会社ベネッセコーポレーションの工藤氏にご講演をいただきました。大学入試改革についての具体的な内容や社会環境が急速に変化している中で保護者様や教員に必要な知識を様々なデータを提供して頂きながら共有することができました。まず、進路選択をする際に、手に職を付けたい、有名企業に就職したい、ネームバリューのある大学に進学したいなどの考えは間違いいではないのですが、その理由を説明できるかどうかが大切ということ。生徒の意思決定力を高めるために、自己理解や希望の職業、進路先の理解をしっかりと行うこと、そして、自らのキャリアプランを語れるまでにする必要があるようです。また、大学入試改革では、大学入試共通テストで記述式問題の導入がされ、さらに、多面的・総合的評価の導入のため、今後は一般人試でも調査書の内容が評価され、推薦・AO入試においても



学力試験が課されるということ。また、推薦・AO入試では活動履歴に加えて、活動の意義を記述する必要がある。自分の経験を通じてエピソードベースの表現力が問われるよう。そのために、1年生からポートフォリオ(活動の軌跡)を残しておくことが大切。最後に保護者としての受験生との関わり方として子供は思っている以上に入試を不安に思っている。進学先へのお互いの価値観を共有していき、安心して努力できる環境を整えることが大切。これから入試の知識を少しでも生徒たちと共有し、新たなサポートの仕方を学べる良い機会になったと思います。次回も多くの保護者様のご参加をお待ちしております。



PTA研修旅行

10月2日実施の「PTA秋季県外研修旅行」では、宮城県の東北学院大学泉キャンパスを訪問しました。学校概況説明・施設見学等を行いました。ステンドグラスが有名な教会や、図書館などを見学しました。

大学見学後、美味しい昼食を食べながら交流を深めたのち、三井アウトレットモール仙台港でショッピングを楽しみました。あわただしい日程ではありましたが、それぞれ有意義な時間を過ごすことができました。

PTAの研修は、上級学校を知ることのできるいい機会であると共に、保護者の方々同士の間を深めることができます。毎年、県内学校見学を7月に、県外研修旅行を10月に

実施しています。次年度も是非ご参加いただければと思います。

PTA事務局 杉田陽子



SZコース 高みを目指す向上心

特進選抜SZコースでは、学力向上はもちろん、様々な活動を通じて自らの進路を実現させる為の力を育成しています。コースの行事として、1年生は東京大学・先進研究施設見学を、2・3年生は夏休み中に学習合宿を行いました。また、希望者を募り、岩手山登山といった行事も実施いたしました。どの活動においても、日々の学校生活では体得し難いもので、SZコースの仲間と協力し、切磋琢磨することができた行事となりました。これらの経験を活かし、今後もSZコースらしく、高みを目指す続ける集団であり、それぞれの進路実現に向けて研鑽努力することを期待しています。

(特進選抜コース長 佐々木 幸恵)



Zコース 大学見学会を通じて

特進Zコースでは毎年1年生全員で大学見学会(オープンキャンパス)に参加しています。これは、大学の施設や内容に触れることで進路の視野を広げ、進路目標を掲げ、大学進学への学習意欲を高めることを目的としています。



今年度は、1年生が東北大学、1・2年生の希望者が県外大学見学会と称して、弘前大学、北海道大学函館キャンパス、はこだて未来大学、北海道教育大学函館校へ行ってきました。実際の大学の講義を受講し、現役大学生からの声を聞くことで、学習へのモチベーションが高まったようです。今後の成果を期待しています。

(特進コース長 朝日田 光晴)

ARコース 進路実現のために

ARコースは進路実現100%を目指し、学年ごとに目標を掲げ、3ヶ年計画を進めています。卒業までに検定準2級以上(Rコースは英検2級以上)取得、大学見学会への参加、各種ボランティア活動参加等、生徒一人ひとりの目標達成のために、コース全体で取り組んでいます。1年生は2年次からの文理選択を12月の三者面談で最終確認します。2年生は1月末にカナダへ修学旅行です。ビクトリアではホームステイを、バンクーバーではグループ研修をする予定です。国際的視野を広げる絶好の機会です。3年生は受験本番を迎えています。事前準備を万全に、全力で頑張ります!!

(進学選抜Aコース長 藤原 陽子)



『先輩が語る会』の様子

Bコース コース行事での学び

1年生では県内の大学・短大・専門学校を七校、2年生では県外の大学・専門学校を三校見学しています。実際に多くの学校を訪問し、施設見学や体験授業を行う中で、進路への関心が高まり、早くから職業選択の検討を深めてほしいと考えています。



また、ラグビー元日本代表の三宅敬さんをお招きし、教育講演会を実施しました。ラグビーを詳しく知らない生徒達も、ルールなど説明していただき、ワールドカップをさらに楽しく観戦することができたと思います。ラグビーのノースサイド精神や、情熱・尊重など、生き方についてのお話も、自分の取り組んでいる競技などに置き換えて、熱心に聞いていました。

(進学総合コース長 杉田 陽子)

クラブ活動報告

【ゴルフ部】

10月16日(木)～18日(金)まで福島県の棚倉田舎倶楽部で、令和元年度全国高等学校ゴルフ選手権秋季東北大会が開催され、田中樹(2A2)・齊藤桃子(1A2)が出場しました。

田中樹は9位で全国大会出場を逃しましたが、齊藤桃子が7位となり来春3月に滋賀県甲賀市で開催される全国大会に出場します。前回の大会では田中樹が日本ジュニアに出場しており、全国でも強豪とされている東北地区の高校を相手に常に健闘しています。また、卒業生(現東北福祉大2年)の米沢蓮はナショナルチームで各種大会に出場し活躍しています。

今後とも関係各位の協力を頂きながら活動をしていきたいと思っております。ご声援をお願いしたいと思います。(顧問/高橋亨)



【男子ソフトボール部】

令和元年度岩手県新人大会ソフトボール競技

男子の部 優勝 盛岡中央高等学校・福岡高等学校 合同チーム
●第14回東北高等学校男子ソフト



ボール選抜大会

1回戦 盛岡中央・福岡7-17白石工業(宮城第二代表) 4回コールド

今回は、部員の人数が足りず、福岡高校との合同チームで東北大会に参加しました。東北大会優勝を目標に取り組んできましたが、東北上位チームとの力の差を実感しました。来年度はリベンジできるように、冬の練習に励んでいきます。

今年もインターハイや全国選抜大会等もあり、PTA・後援会の皆様方、全校生徒からご声援をいただきまして、選手たちにとって大きな力となりました。来年度こそは、成果を残せるよう、選手とともに日々成長していきます。また、強化面では日頃からコーチ、学校関係者、県ソフトボール協会など多数の方々にご支援いただきました。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございます。(顧問/小林雅史)

【女子ソフトボール部】

●第66回高校新人大会

2回戦 盛岡中央10-9花巻農業・紫波合同チーム

3回戦 盛岡中央0-7花巻南ベスト16

●第27回東北私立高校選抜大会

予選敗退

3年生中心のチームが主力の3年生が抜けた事でチーム力が低下、特にも投手力を含めた守備力は大きな課題でした。その中で1・2年生が短期間の間に成長してくれました。第27回の東北私立高校選抜大会に3年ぶりに出場し、前回には得点を挙げることもできなかったが、新チームは元氣よくプレーするなど来年度に向けて楽しみと期待を持ち、オフを乗り切りたいと思います。(顧問/川手祐輔)

【男子柔道部】

●岩手県新人大会(関市)

団体戦 準優勝

二回戦

盛岡中央 5-0 花巻東

三回戦

盛岡中央 5-0 宮古

準決勝

盛岡中央 4-0 福岡工業

決勝

盛岡中央 1-3 盛岡大附属

個人戦

73kg級

準優勝 岩沼 唯翔(1A2R)

3位 山崎 寛樹(2B2)

81kg級

3位 宮田 修斗(1B1)

90kg級

3位 菊池 進太郎(2B2)

100kg級

優勝 勝田 時成(2B2)

2位 小田島 紘己(1B2)

100kg超級

2位 斉藤 翼(2B2)

本校男子柔道部は、新チームになり新人戦という重要な試合を落としてしまいました。また個人戦も満足いく結果を残すことができず、非常に多くの課題を残してしまいました。敗因として、新人戦前まで三船十段杯や北奥青少年大会では運よく優勝する事ができたために、普段の練習での隙が今回の結果に繋がったと考えられます。我々は、この敗戦を機に意識を変え、現在練習量を上げ猛特訓中です。次回の選手権では、良い結果報告をできるように精一杯頑張りますので、引き続き応援の程よろしくお願い致します。(顧問/久保田豪)

【女子柔道部】

令和元年度岩手県高等学校新人柔道大会が10月18日～19日まで(関市総合体育館)にて行われました。女子団体は残念ながら3位という結果に終わりました。続く女子個人においては48kg級で押切ひなみ(1B2)が3位、57kg級、沼端柚有莉(2B1)が準優勝、70kg級、三浦萌子(2B2)が準優勝という結果でした。11月に行われる全国高等学校柔道選手権大会岩手県予選では優勝を目指し努力していきたいと思っておりますので応援よろしくお願い致します。(顧問/長澤英胤)

【サッカー部】

●高宮宮杯U-18サッカーリーグ

I.LEAGUE D1 7位 D2A 6位
●第98回全国高校サッカー選手権大会 会 岩手県大会 ベスト16

2回戦 盛岡中央5-0釜石

3回戦 盛岡中央1-4盛岡誠桜

サッカー部は9月に1・2年生部員の希望者14名が国際姉妹校交流親善サッカー短期研修でアルゼンチンへ行き約2週間練習を積み、本場のサッカーを体験しました。その成果を発揮しようとした高校選手権大会でしたがベスト16と悔しい結果となりました。今年度の結果を受け止め、来年度は参加するリーグ戦、トーナメント戦で結果を出す取り組みをしてまいります。(顧問/中村祥希)



【野球部】

野球部は2年生15名1年生16名の31名で活動しております。夏の選手権予選では延長14回タイブレークの末、初戦で盛岡市立高校に12-13で

取れてしまいました。PTAの皆さま、在校生の皆さまには、猛暑の球場に駆けつけ、ご声援いただきましてありがとうございます。

本校野球部は4月より、奥玉真大を監督として迎え、「生活即プレー」の部訓に「球道即人道」のコンセプトを加え、野球を通して世のため人のためになることができる人材の育成を目的に活動しております。

20年ぶりの夏の甲子園大会出場を目指し、スタッフ、部員一同練習に励んでおりますので、引き続き応援よろしくお願いたします。

(顧問/本間崇朗)

思います。(顧問/杉田陽子)

【硬式テニス部】

●第51回岩手県高等学校新人テニ大会
男子団体
1回戦
盛岡中央2ー3福岡工業
敗者復活戦
盛岡中央2ー3盛岡工業
女子団体
1回戦
盛岡中央1ー4盛岡白百合
敗者復活戦
盛岡中央1ー3盛岡南
女子シングルス 優勝
紺野木葉(1B2)

男子団体
1回戦
盛岡中央2ー3福岡工業
敗者復活戦
盛岡中央2ー3盛岡工業
女子団体
1回戦
盛岡中央1ー4盛岡白百合
敗者復活戦
盛岡中央1ー3盛岡南
女子シングルス 優勝
紺野木葉(1B2)

●春季ジュニア岩手県予選
U16男子 7位 松田優斗
U18女子 優勝 紺野木葉
●県ジュニアダブルス選手権
女子 優勝
紺野・小森(白百合)ペア



女子の紺野木葉が宮崎で開催されたインターハイへの出場を果たしました。岩手県予選では猛暑の中の連戦で体調を崩しながらも代表権を勝ち取りました。インターハイでは酷暑や台風の影響で、試合の進行方法や試合開始時間の変更など様々なアクシデントに見舞われながらも、全国常連の強豪相手に一歩も引かない試合を見せてくれました。あと一歩というところで惜しくも初戦敗退となりましたが、1年生であり、今後に繋がる大きな経験となりました。PTA・後援会の皆様、全校生徒の声援を頂きましてありがとうございます。

個人では紺野木葉を筆頭に成績を修めている生徒はいますが、来年の高校総体では団体戦での上位入賞も目標に一人一人が自分の課題を明確にして練習に取り組んでいきます。

(顧問/石川圭郎)

【ソフトテニス部】

●第64回県新人大会
男子 団体戦
1回戦 盛岡中央0ー3盛岡一
女子 団体戦
1回戦 盛岡中央2ー1盛岡大附
2回戦 盛岡中央0ー3一関学院
男子は新人戦県大会では思うようなプレーができず初戦敗退という結果でした。来年の高総体に向け指導強化に務めたいです。

女子は現在部員数が5名であり、団体戦には助人を頼んでの出場でしたが一勝することができました。来年の高総体でもいい結果が残せるように指導を続けていきます。

今後も個々の意識の向上とメンタル面の強化、技術の向上に励み、目標達成に向け今後も日々精進していきたいと思えます。

(顧問/梅木翔太)

【男子バスケットボール部】

●第40回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会盛岡地区予選
1回戦
盛岡中央34ー105盛岡四
敗者復活戦
盛岡中央65ー75盛岡大附

●第65回岩手県高等学校新人大会バスケットボール競技盛岡地区予選
1回戦
盛岡中央42ー110盛岡四
敗者復活戦
盛岡中央55ー63盛岡農業
男子バスケットボール部は現在、2年生5人、1年生11人で活動しています。個々の持ち味を磨き、チームに貢献できるように一人一人技術力向上のために練習に励んでいます。精神的な強さも身に付けられるよう、今後も精進していきたい、1勝でも多く勝てるチームへと成長を遂げたいと思えます。最後に、日々の部活動を支えてくださっている保護者の皆様、本当にありがとうございます。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いたします。

(顧問/田村祐太)

【女子バスケットボール部】

●第40回岩手県高等学校選抜バスケットボール大会盛岡地区予選
1回戦
盛岡中央55ー58盛岡四高
敗者復活戦
盛岡中央49ー86不来方

●第65回岩手県高等学校新人大会バスケットボール競技盛岡地区予選
1回戦
盛岡中央64ー73盛岡四
敗者復活戦
盛岡中央51ー72盛岡北
代表決定戦
盛岡中央114ー42盛岡工業
岩手県大会出場
女子バスケットボール部は現在本校の部員7名と盛岡大学附属高校の部員2名と合同で活動しております。人数が少ない中ではありますが、毎日賑やかに練習に取り組んでおります。

1月には県大会が控えておりますので、目標の「岩手県ベスト16」に向かって精進したいと思えます。これからも変わらぬご支援、ご声援をよろしくお願いたします。

(顧問/岩淵城)

●県秋季大会
2部2回戦
盛岡中央40ー3水沢工業
2部3回戦
盛岡中央15ー22盛岡一
●県新人大会
ベスト8
2回戦
盛岡中央29ー18盛岡三
準々決勝
盛岡中央20ー32不来方
昨年の新人戦でベスト4を逃してから一年が経ちました。シードへ戻ることの難しさ・シードの大切さを痛感しています。最近怪我も多く、苦しいチーム状況ですが、多くの練習試合を重ね、少しずつ安定したゲーム運びができるようになってきました。一月五日から行われる県選抜大会の出場権を得たので、強固な身体作りとチーム力強化に重点を置き、ベスト4以上に勝ち上がれるように頑張ります。そして、来年度開催される岩手インターハイへ出場の二枚を目指し、更なる努力していきたいと

●NHK杯
女子シングルス 2位 紺野木葉

【令和元年度東北私学テニス競技大会】

男子団体 9位
1回戦
盛岡中央0ー3新庄東
順位決定戦
盛岡中央2ー1山本学園
盛岡中央2ー1明桜
女子シングルス 3位 紺野木葉
男子シングルス 13位 松田優斗

●東北ジュニア選手権U16
女子シングルス ベスト8
紺野木葉
女子ダブルス ベスト4
紺野・山口(岩大附属)ペア

●NHK杯
女子シングルス 2位 紺野木葉

●NHK杯
女子シングルス 2位 紺野木葉

女子シングルス 2位 紺野木葉

男子団体 1回戦敗退
女子団体 1回戦敗退

3年生が引退し、新チームは男子12名、女子5名で活動しています。県新人大会は、学校対抗のみの出場でしたが、男女とも1回戦敗退という結果でした。今年度の大会は、1月に盛岡市で行われる県選抜(個人戦)大会を残すのみとなりました。1人1人の課題を克服できているか、普段の練習の成果が1番表れる大会です。新人大会での悔しさをバネに、今後の大会でベストを尽くせるよう練習に取り組んでまいります。
(顧問/佐々木美咲)

【バドミントン部】

●第59回岩手県高等学校新人バドミントン大会盛岡地区予選
男女とも学校対抗1回戦敗退
男子シングルス
吉田巧汰(2Z1)ベスト16

●第59回岩手県高等学校新人バドミントン大会
男子学校対抗 1回戦
盛岡中央3-0一関学院
2回戦
盛岡中央0-3前沢
女子学校対抗 1回戦
盛岡中央1-3一関一
バドミントン部は男子19名、女子6名で活動し、基礎体力の向上などを中心とした練習に取り組んでいます。新人戦では地区予選・県大会ともに試合の後半に勝ちきれなかったり、選手の負傷があったりしたことで成績を残すことができませんでした。この結果をしっかりと受け止め、来年度の高総体に向けて、試合の後半まで続く体力作りや技術練習などをこれまで以上に引き締めて取

り組んでいきたいと思えます。
(顧問/田村琢郎)

【女子バレーボール部】

●第19回岩手県私立立高等学校男子・女子バレーボール選手権大会
リーグ戦
盛岡中央0-2盛岡誠桜
盛岡中央0-2水沢二高
盛岡中央0-2専大北上
順位決定戦 1回戦
盛岡中央0-2一関修紅
(1回戦敗退)

●第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会盛岡地区予選
リーグ戦
盛岡中央0-2盛岡南
盛岡中央0-2盛岡第一
順位決定戦 1回戦
盛岡中央0-2岩手女子
(1回戦敗退)

●第72回全日本バレーボール高等学校選手権大会盛岡地区予選
リーグ戦
盛岡中央0-2盛岡南
盛岡中央0-2盛岡第一
順位決定戦 1回戦
盛岡中央0-2岩手女子
(1回戦敗退)

新人戦に向けて頑張っています。3年生6名が引退し、1、2年生8名で活動しています。夏休みの酷暑の中行った合宿を乗り越え、基礎定着&個人の技術向上を目標に取り組んでいます。選手権地区予選や練習試合などでセットをとりきれない悔しさをバネに、新人戦県大会出場を目指して前向きに練習に励んでいます。
(顧問/佐々木幸恵)

●第13回東北高等学校少林寺拳法選手権大会
男子単独演武
優勝 大久保来翼(3Z2)

●第46回全国高等学校少林寺拳法競技大会
男子自由単独演武
3位 大久保来翼



●第35回少林寺拳法若手県大会

高校生 単独演武 黒帯の部
最優秀賞 大久保来翼
高校生 単独演武 茶帯の部
最優秀賞 吉田大朗(1A2)
高校生 単独演武 緑帯の部
最優秀賞 佐々木暖(3Z2)
少林寺拳法振興議員連盟賞 大久保来翼

今年度は、前年度から部員も増え、各々が自分の目標達成に向けて演武練習を積んできました。その中で、前年度の第22回全国高等学校少林寺拳法選抜大会の男子自由単独演武の部にて全国優勝を果たした3Z2大久保来翼は、集大成として第46回全国高等学校少林寺拳法競技大会(インターハイ)での予選突破と優勝を目標に、「目的意識をもって」演武練習を行い、インターハイでの3位入賞を果たすことができました。優勝してほしい気持ちもありましたが、予選敗退から学ぶこと、優勝から学ぶこと、優勝にわずかに届かない3位入賞から学ぶことと、異なる結果か

ら学ぶ部分があると考えると、この結果もまた彼にとつての新しい経験として、糧となり生かしてくれるのではないかと思います。また、3Z2佐々木暖、1A2吉田大朗も、出場した大会にて堂々とした演武を披露してくれ、とても誇らしく感じました。今後は1年生が活動の中心になります。自身の目標設定とそれを達成する過程を重視し、さらに成長を促せるような指導を続けていきます。
(顧問/中村祐史)

【さんさ同好会】

●盛岡さんさ踊り高校選手権大会2019 準優勝
●第21回CHUO国際教育フォーラム オープニングステージ発表
●2020年用年賀はがき発売開始
セレモニー パフォーマンス披露

今年度は「さんさ甲子園」三連覇を目指した活動を行いました。四月から



初心者対象の練習を開始し、六月考査明けからは、全体練習に臨みました。普段はリーダーたちがメニューを組み自主的に練習していました。8月2日バレード当日は非常に蒸し暑く、踊っている途中で具合が悪くなる生徒も出るほどでしたが、最後まで笑顔で踊りきり、観客の皆様にも元氣をお届けすることができました。来年は再び優勝旗を取り戻したいという新たな目標もできました。今年度もご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。
(顧問/佐々木恵・岩崎聡史)

【家庭部】

毎週月曜日の放課後、家庭科室で『お菓子作り』を中心に活動しています。クレープ、ワッフル、ロールケーキ、マカロン、さつま芋のチョコスジャガイモのチーズボール等々、メニューも豊富。美味しいお菓子作りを楽しんでいます。今年の夏には、インクルこども食堂主催イベント「浴衣で夏祭り」にボランティア参加し、浴衣の着付け、縁日、夕食のハヤシライス作りをしました。子どもたちのキラキラした笑顔に汗だくになりながら



も喜びを感じた1日でした。盛岡さんさやCHUO国際教育フォーラムでは、浴衣の着付けで大活躍の家庭部でした。
(顧問/藤原陽子)

【合唱部】

私たち合唱部は毎週月曜・水曜の二回、中央高校音楽室で活動を行っています。歌謡曲や宗教曲など、様々な曲を歌います。経験豊富なコーチの指導のもとで、楽しく歌うことをモットーに、和やかな雰囲気です取りやパート練習を進めています。8月に開催された第71回全日本合唱コンクール岩手県大会に、盛岡大学附属高校音楽部と合同で参加し、優良賞を受賞しました。

現在、部員は1年生4名です。来年1月に行われる第29回岩手県合唱小アンサンブルコンテストへの出場・入賞を目指して練習に取り組んでいます。常時、部員募集中です。初心



者も大歓迎です。

(顧問/高松博明・齊藤匡郎)

【軽音楽部】

●第19回軽音楽発表会 優良賞

今年度も経験者を含む新入生を迎え、昇龍祭、CHUO国際教育フォーラム歓迎会での発表など、新しく組んだバンドでの練習を行い、発表することができました。3年生は昇龍祭で引退となりましたが、1年生と合同でバンドを組むなど学年を超えた交流をすることができました。岩手県高等学校総合文化祭での発表は2バンド出場しましたが、その中の2年生バンドが優良賞を受賞することができ、本人たちも楽しんで演奏できたようでした。1年生のバンドは初出場でしたが、オリジナル曲で挑みました。審査員のヤマハミュージックジャパンの方からアドバイスをもらい、さらなる技術の向上に努めていきたいと思えます。十月には介護施設「やちだもの家」を訪問し、ハロウィン音楽祭に参加しました。幅広い年齢層の方々と音楽を通じて交流することができ、良い経験になりました。
(顧問/齊藤綾子)

【茶道部】

茶道部は初めてお茶を始める生徒がほとんどですが4月にお稽古を始め、7月上旬の昇龍祭では一人でお手前をすることができるようになります。その後、夏の学校見学会で中学生を対象に茶道体験を行い、8月末のCHUO国際教育フォーラムで集大成として海外の引率教員、および生徒を招待してお茶会を行います。初めて日本文化を体験する方たちには本物のすばらしさを伝えること



もに、自分たちも技術を磨く絶好の機会となっています。
(顧問/小笠原典子)

【囲碁将棋部】

●第43回全国高等学校囲碁選手権岩手県大会

個人戦 A級優勝
菊池蒼(3SZ2)
●第43回全国高等学校囲碁選手権大会
個人戦 1次リーグ予選敗退
菊池蒼(3SZ2)
●第43回全国高等学校総合文化祭囲碁部門
個人戦 48人中20位
菊池蒼(3SZ2)
●将棋部門
●第38回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
個人戦 B級4位入賞
長村大樹(2SZ1)

囲碁・将棋部は高校生男子10名で高校本校舎4階の選択教室で活動し

ています。
今年には多くの1年生の新入部員を迎えることができ、各員の棋力・囲碁力向上及び大会での入賞を目指して日々活動しています。今年には囲碁・将棋の双方で1名の入賞者を出せたものの、個人戦・団体戦共に惜しくも入賞を逃した生徒も少なくありませんでした。今後は来年度に向け、今年の雪辱を晴らすべく部員を増やすことに加え一人でも多くの入賞者を出す事を目標に活動していきます。
(顧問/菊池亨)



【吹奏楽部】

吹奏楽部は、高校生6名、附属中学校6名の計12名で中学校音楽室で活動しています。
3年生が引退し人数が少なくなり、個人練習や各パート練習、全体練習を行っています。今年にはコンクールやコンテストへの参加は断念致しましたが、昇龍祭では中学生と合同で演奏しました。今後は部員を増やし、ソロのコンテストや卒業式等の各形式典での演奏を目標とし日々の練習で基礎を大切にしながら活動を行っていきます。
(顧問/中森淳)

●第38回岩手県高等学校文化連盟将棋新人大会
個人戦 B級4位入賞
長村大樹(2SZ1)

【ディベート同好会】

11月5日(火)、花巻市で行われた「第7回岩手県Kenji Cup 高校生英語

ディベート大会」に本校のディベート同好会が参加してまいりました。2年生メンバーで構成されたAチームは準決勝まで進み5位、1年生メンバーで構成されたBチームは準決勝まで進み3位で大会を終えました。時間があまりとれない中で準備・練習し、あと一歩で全国大会出場というところまで行くことができました。この経験をぜひ来年度に活かしたいと思えます。
(顧問/八重樫直人)

馬場事務長が御退職されます



煩雑な学校の事務仕事を行いながら、学校全体に活気を与え、学校のみならず教職員を支えてくれた馬場事務長ですが、12月末をもって御退職されます。事務長には、PTA研修旅行毎年恒例の「事務長クイズ」をはじめ、様々な活動に多大なご協力をいただきました。中央愛の大きな馬場事務長、18年間本当にありがとうございました。





Colegio Ward's Football Camp

アルゼンチンで学んだこと
文化や環境について

私は、今回のアルゼンチン遠征の前
にけがをしてしまったと思っていた
が、見て学ぶことも多く全然無駄では
なかった。そんな私が学んだこと

一つ目は、相手の背後から裏へ抜け
出すということだ。相手の視界に入っ
ていると反応されやすい。しかし、背
後をとることで相手の視覚に入らず反
応されにくいということが分かった。
それと同時に斜めの動きをすると効果
的だと気が付いたし、もしそこにボー
ルが出なかったとしても連続した動き
を何度もし、ボールをもらう動きが必
要だと思った。私はまだまだこの動
きは今後意識していかなければならな
いと感じた。

二つ目は、アルゼンチンの選手は、
相手との距離感を手で確認していたこ
とや、相手を背負った状態のとき体
を激しくぶつけてボールをキープして
いた。私はこの遠征で距離感も大事な
ポイントだと思った。それは、相手の
距離感を知っておけばプレーの選択も
違ってくるからだ。さらに、これは攻
撃のときだけではない。守備の時も相
手との距離感や間合いを知っておくと
ボールを奪いやすいと感じた。この動
きも今後意識していきたいと感じた。

(中略)

七つ目は、高い位置での守備だ。ラ
ヌース戦で、センターラインよりも高
い位置でのプレスやセンターラインで
の強固な守備ができていたのだから
いかにできたか、いい距離感だったと
思った。私はフォワードなので相手の
ボールのコースを消しながらプレス
していけばいいと分かった。

次にアルゼンチンの文化や環境につ
いて日本と違うことや学んだこと。

四つ目は、休みをしっかり取ること
だ。アルゼンチン人は、休む時はしっ
かり休むのが一般的だった。そのため
日曜日のスパーなどほとんどが閉
まっている。つまり休みを大切にす
るということは、家族の時間や個人の時
間を大切にしているということだと
思った。これは日本も参考にしていし
てほしいと思った。



このようにたくさんの方から学ば
ることができた。これは誰もができない
ではないし、しようとしてもできない
ことだと思う。この経験は必ず今後の
財産になると思う。これから生か
していかなければならないと思う。そ
れに齊木さんが私達に残してくれたメ
ッセージがある。

一つ目は、このプログラムに関わ
た人々に感謝することだった。人に感
謝することは人から感謝されることだ
と教えていただいたし、私もたくさん
のことに感謝していきたいと感じた。

二つ目は、このような経験は誰もが
できることではないし、全国で100
人も経験できないと思う。こんな貴重
な経験を積んだからには変わってい
なければならぬと感じた。

三つ目は、サッカー馬鹿になつては
いけないということだ。私達全員が今
まで経験できなかった。

後サッカー関係の仕事に就くわけでは
ないから今のうちに世界に目を向け
て、世界の状況や知識を積んで他の仕
事に就いても世の中で生きていけるよ
うに情報を取り入れる癖をつけておく
ということだった。

この話を聞いて、改めて私達は恵ま
れていると知ったし大変な経験を積ん
でいると知った。

フアビオには、たくさんの方との親善試
合の交渉や素晴らしいチームとの機会を
作ってくれたことも非常に感謝して
いる。それにいつも笑顔で雰囲気良く
してくれていたのもとても練習しやす
かった。

ベビには、たくさんの方のトレーニン
グを教わったが、一つひとつに意味が
あった。どの練習でも相手をイメージ
しながらボールの持ち方や体の向きな
どを細かく教えていただいた。全ての
練習を私達のために熱心に指導して
いただき非常に体に染みついた。

サンティアゴには、試合で最高のパ
フォーマンスができるように試合前の
アップや体の動きを教わった。最初に
ストレッチを入れてから体幹をしてラ
ダーという流れで体を温めたり、サッ
カーテニスといった遊び感覚で体を温
めたりたくさん工夫をしてくれてい
た。そのおかげでたくさんの方の親善試
合ではいい結果が出せた。

城間さんは、非常にわかりやすい通
訳と、私達のテンションを上げてくれ
た。それに、観光やショッピングの時
は店員の通訳など私達が困らないよう
にサポートしてくれたので非常に助
かった。

この四人には、また会える日を楽し
みにしている。

最後に、たくさんの方の支えでこの
ような経験ができたことを感謝して今
後の期待に少しでも応えられるように
日々の努力を怠らず頑張っていきたい
と強く感じました。アルゼンチンでお世
話になった人々にもいい報告ができる
ように頑張っていきたいと感じました。

1年A2R組 4番 小川口 諒

編集後記

今年度も、日本全国で台風の影響が
大きくありました。浸水被害が大きい
1か月近く休校していた帝京安積高校
へ、PTA昇龍祭模擬店の売り上げか
ら、雑巾300枚を寄付させていただきました。
保健室などは、胸のあたりまで浸水し
しまったそうです。災害への備えは、
十分に行っておきましょう。

～自転車事故について～

生徒指導課長 高橋 亨

今年度、本校では自転車事故が20件発生して
います。市内の高校でも自転車事故が多発して
います。20～25件で重大事故が発生するといわ
れており、とても心配しています。

近年、自転車事故の裁判(判例)が変わってき
ております。自転車は軽車両ですので、対人事故を
起こした場合は、多額の損害賠償請求が発生しま

す。車と自転車が衝突した場合、弱者救済により
車の過失割合が大きかったのですが、最近はスマ
ホ等を使用する自転車が、自転車側の過失も
問われる裁判(判例)が多くなってきています。

本校では入学時に高校生総合保障保険をご案内
し、希望者のみ加入していただいています。自転車
に関しては、TSマーク(自転車向け保険)、マイ
カー共済(自転車補償責任補償特約)など、特に
対応しているさまざまな保険がありますので、ご家
庭で備えていただければと思います。